

植田典子 (Noriko Ueda) ベーシスト／コンポージャー／アレンジャー

兵庫県出身の植田典子は、4歳でピアノを始め、16歳でエレクトリックベースを手にした。ジャズへの関心の高まりを機にウッドベースに転向し、本格的に音楽の道を志す。

ボストンに渡り、バークリー音楽大学 (Berklee College of Music) でジャズ作曲を学ぶ。卒業後はニューヨークに拠点を構え、演奏家・作曲家として活動を続けている。

現在は、ジャズグループArtemis (アルテミス) のメンバーとしてツアーを行っており、同グループは2023 - 2025年にDownBeat誌から3年連続「Jazz Group of the Year」、また2025年にJazz Journalists Associationから「Mid-Sized Ensemble of the Year」を受賞。同年2月にBlue Note Recordsよりリリースされた3枚目のアルバム『Arboresque』は、JazzWeek Jazz Radio Chartで5週連続1位を記録した。

テッド・ローゼンタール・トリオのメンバーとしても20年以上にわたって共演を重ね、アメリカ国内での活動の他、日本では15回以上のツアーを行い、岡山フィルハーモニック管弦楽団とも複数回にわたって共演している。

植田のリーダーアルバム『Debut』は、2015年に寺島レコードよりリリースされた。

これまでにカーネギーホール、ケネディ・センター、リンカーン・センター、バードランド、ヴィレッジ・ヴァンガード、Blue Note New York、Blue Note Tokyoなどの名門会場や数多くのジャズフェスティバルに出演。共演してきたアーティストには、フランク・ウェス、グレイディ・テイト、ケニー・バロン、ビル・チャーラップ、ルイス・ナッシュ、小曾根真、日野皓正らが名を連ねる。

作曲家としては、BMIよりビッグバンド作品に対してチャーリー・パーカー賞 (Charlie Parker Award) を受賞。長年参加しているDIVAジャズ・オーケストラをはじめ、アメリカ・ナショナル・ユース・オーケストラ (National Youth Orchestra of the USA) などのビッグバンドにも作品を提供している。

2022年より、ニューヨーク州立大学パーチェス校 (SUNY Purchase College) のジャズ科にて教鞭をとり、次世代のジャズミュージシャンの育成にも力を注いでいる。